

第1回 令和3年 7月8日(木) 13:30~13:50

開講式

挨拶 青森県青少年・男女共同参画課 課長 小坂 秀滋
南部町役場 住民生活課 課長 石橋 一史

今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、かぎられた定員での開催となりました。

令和3年度「あおもりウィメンズアカデミー 地域女性リーダーコース」開講式にあたり、青森県青少年・男女共同参画課、小坂秀滋課長より「新型コロナウイルス感染拡大は、特に雇用や生活面などで女性への影響が懸念されています。こうした中で、若者や女性の県内定着を図ること、年齢に関わらず、一人ひとりが能力を十分に発揮できる環境を整えていくこと、そして、多様な生き方や働き方を選択でき、それを認め合う社会を実現することがますます大切であると考えています。本日から11月までの講座において、自らの意識と能力を高めるとともに、受講生の皆さまで互いに交流を深め、楽しみながら、ひとつでも多くの発見や気づきを得ていただきたいと思います。」と代読にてご挨拶をいただきました。



南部町役場住民生活課の石橋一史課長からは「男女共同参画は、少子高齢化の進行や生産年齢人口の減少など、社会情勢の変化に対応していくうえで、非常に重要な課題であり、家庭や職場、地域社会において、性別や年齢にかかわらず、役割を分担し男女がお互いの人権を尊重しながらともに責任を分かち合い支え合うことの大切さを理解していく意識づくりの醸成がますます重要になってきているところがあります。受講生の皆さまがお互いに情報交換し、情報の共有をしながら、活発な意見交換がおこなわれるよう、町としてサポートにつとめ、一緒に勉強してまいりたいと思っております。受講生の皆さまにとって実りある研修となることをご祈念申し上げます」とご挨拶いただきました。

【公開講座】女性のチカラで地域を元気に

【講師】島 康子さん 津軽海峡マグロ女子会青森側とりまとめ役・Yプロジェクト(株)代表取締役
青森県大間町生まれ。慶応大学法学部卒業後、(株)リクルートに入社。東京、仙台での生活を経て平成10年にUターン。平成12年2月、まちおこしゲリラ集団「あおぞら組」を結成。
受賞歴 ◎平成26年度グッドデザイン賞(あおぞら組)
◎平成27年度ふるさとづくり大賞 総務大臣賞
◎平成27年度青森県いきいき男女共同参画社会づくり表彰 奨励賞

【講演概要】

「まちおこしゲリラ活動」のきっかけとはじまり

Uターンし、大間町を見たとき、「その土地の特徴がしっかりある」。その濃さに「かっこいいなあ」と感じ、この土地でなんでも挑戦していけるという気持ちが湧いてきました。

平成12年「あおぞら組」を結成。「自分たちがおもしろがってやっていけることを、やっていこうじゃないか」とフェリー埠頭で大漁旗を振って出迎える「旗振りウエルカム」をスタート。

「理屈こねる前にまんず動け」を自分たちの行動原則にしてまちおこしゲリラ活動をしています。

いばる×ひろげる×つなげる

自分たちの地域の良い所をいばる、そしてひろげていく、その良さをつなげていく活動を展開しています。大間-函館間フェリー存続のため、周辺市町村とつながり、下北の魅力を函館市にPRし、観光まちづくりの発信のため、鯉のぼりではなく全長10mの「まぐろのぼり」を作製しました。五稜郭タワーでは毎年子どもの日に巨大まぐろのぼりが泳いでいます。

本気度が人を動かす

フェリー航路を盛り上げる中核メンバーとして、平成22年には大間高校に非公式ゲリラ部が発足しました。平成25年4月5日、新しくなった大函丸を迎えるため「100人旗振りウエルカム」を企画し、高校生や町の人たちを巻き込み、当日は500人が旗振りに参加し盛況となりました。

おもしろくて×食っていけて×地域のためになる

「おもしろくて×食っていけて×地域のためになる」をモットーにあおぞら組の収益部門を株式会社化し、Yプロジェクト(株)を設立。

平成26年、北海道新幹線開業にむけて、津軽海峡マグロ女子会が誕生しました。縦割り、上下関係はなく、お互いを尊敬しながら競争していく、90名ほどの多彩なメンバーが集まっています。その思いが飛び火し、現在では関門海峡に「フク女」、北海道の後志に「しり女」、八戸に「はづのへサバ嬢」が誕生しています。楽しく続けていくためには、特定の人だけが頑張りすぎない(負担のシェア)、エリア単位でプロジェクトを出たり入ったりできるゆるやかさを大切にしています。

リーダーは引っ張るのではなく、お互いがwin win winになれるよう調整するまとめ役です。



受講生の感想

- ・“理屈こねるまえに、まず動け” 耳が痛い一言です。できない理由をさがすのであれば、できる理由も見つけられるのでは…そんなことが頭をよぎりました。

男女共同参画の理解講座

【講師】青森県男女共同参画センター部長 高橋一枝

男女共同参画社会はなぜ進まないのか

男女共同参画は国の最重要課題と言われています。なのに、なぜ進まないかという「性別による固定的役割分担意識」「無意識の偏見」が根強くあるからです。

「人口減少」・「少子高齢化問題」について

青森県は人口が前年より1万6千人程度減少しており、毎年これに近いペースです。これは南部町や五戸町の人口に近い数字ですから、毎年一つの町が消えていくペースです。合計特殊出生率というのは女性が一生のうちに何人子どもを産むかという数です。夫婦は2人ですから2.0あれば維持できそうですが、15歳までに亡くなる方もいるので2.07か2.08なければ人口は維持できないといわれています。2019年のデータでは、青森県は1.38しかなく減少が止まらないということです。



「労働問題」について

以前は専業主婦世帯が多かったが、24年前から逆転し、共働き世帯が全体の3分の2以上になっています。女性は、仕事、家事、育児、介護と全部が乗っかっている状態です。

「地域活力の低下」について

どの地域も女性の自治会長が1割にも満たない。方針決定過程が特定の性別、年齢で占められていると、災害時の対策等に多様な配慮が行き届かないため、女性の意見や様々な年代を取り入れていく必要があります。

「ジェンダーギャップ指数」

156か国中120位。日本は先進国最下位です。経済、教育、健康、政治の4項目で、日本は特に経済と政治の分野がものすごく低くなっています。政治の分野をみると、女性議員の比率が非常に低く、女性議員ゼロ議会の多い県、全国NO1は青森県です。経済の分野では男性が給料を100もらえるとすると、女性は76.9%しかもらえない。勤続年数が長くなるにつれて格差が開いていき、全体的に女性に厳しい状況です。

一人ひとりが自分らしく輝いて生きられる男女共同参画社会って？

男女共同参画の視点とは「あらゆる事柄において、一方の性に偏っていないか、一方の性のみ不利益を被っていないか」という視点です。男性だけに経済的責任を担わせない、女性にだけ家事、育児、介護を担わせない。そして、男性の長時間労働の問題が改善されれば、男女共に働きやすい職場になります。そうすると仕事と家庭生活が両立でき、女性のキャリア形成、男性の家庭参画もかない、それにより男女の地域参画も可能になりますし、少子化対策にもつながっていきます。男女共同参画社会は、女性にとっても男性にとってもマイノリティの方にとっても、生きやすい社会です。

受講生の感想

- 自分の言動が相手を傷つけていないか、性別で相手や物事を判断していないかを考えるようにしている。

はじめての Zoom 講座

【講師】蝦名晶子さん ディーシーティーデザイン 代表

生まれも育ちも、現在の活動拠点も青森県青森市。地元青森のショッピングセンターの販売促進課でマーケティング・共同販促・広告・イベント企画・ディスプレイ等に携わる。2004年「ディーシーティーデザイン」を設立。デジタル媒体および紙媒体の企画から運用までを行っている。NPO 法人あおもり IT 活用サポートセンター 理事/NPO 法人あおもり男女共同参画をすすめる会 理事

パソコン環境・ブラウザについて知っておこう

自分のパソコン環境を知っておくことで、トラブルがあった場合の解決策につながることもあるため、「OS は何か」「バージョンは何か」確認をしておくことをおすすめします。アップデートは必須。ブラウザとはインターネットをするためのソフトウェアのことで「マイクロソフトエッジ」「インターネットエクスプローラー」他があります。「インターネットエクスプローラー」はサポートが終了するため、使わないようにしましょう。

パスワードはしっかり管理で不正ログインをふせぐ

パスワードを簡単にしていることで、利用しているインターネットサービスのアカウント情報（ID、パスワード）が盗まれたり、推測されることで、不正ログインされてしまいます。できれば使いまわさないことをおすすめします。ネットで漏洩しているパスワードを検索できるので、入力してチェックすることができます。多要素認証というものが増えてきているので、サービスとしてその機能がついているなら利用することをおすすめします。

公衆 Wi-Fi に気を付けよう

パスワードを入力して利用する公衆 Wi-Fi は安全ですが、接続がオープンになっている Wi-Fi では、自分の ID やパスワード、個人情報を入力をしないようにしましょう。

オンラインツール（Web 会議ツール）

オンラインツールには Zoom の他に Microsoft Teams、Google Meet 等多数あります。最大参加可能人数や参加者のログインが必要かなど、それぞれ機能に違いがあります。オンライン会議をするときのマナーとして、カメラの角度や距離、背景の映り込みを確認。静かな環境で、ゆっくり、はっきり話す。自分が話すとき以外はマイクをミュート。ネットワーク環境の良い場所で参加しましょう。

Zoom を使ってみよう

Zoom は自動でアップデートされないため、アップデートの確認が必要になります。ホストができることは、ミーティングの主催、ミーティングの録画、ブレイクアウトルームの管理です。参加者のできることは、ミーティングに参加（ユーザー登録不要・スマホから参加の場合はアプリが必要）。ホストと参加者双方ができることは、画面共有、チャット、バーチャル背景、ミーティングの終了があります。



受講生の感想

- 職場で Zoom を使った会議やセミナーに積極的に参加できるようになった。
- Zoom の操作に自信がもてた。